

不定詞（副詞的用法）の導入『ここ、何しに来る場所？』授業案（Why? に To ～. で答える）

不定詞の単元に入ると、I want to ～. はすぐに口から出るようになります。止まるのは「～するために」の to です。I went to the park for play tennis. と for でつなぐ生徒、I went to the library to studied. と to のあとまで過去形にする生徒、to を落として I went to the store buy ice cream. と書く生徒が、同じクラスにいます。3つとも、to のあとが何を言っているのかがまだつかめていない誤りです。この授業案は、人がその場所へ来る「わけ」を3つのヒントで聞いて場所を当てるクイズで to+動詞を18回聞かせ、Why? には To ～. の1語目から答えられることに気づかせます。

この教材で解決できる悩み

- 「to+動詞＝～するために」と訳を覚えさせても、作文で for play や to played が出る
- want to は言えるのに、Why? と聞かれると Because … で長く答えようとして止まる
- went to the library to study のように to が2つある文で、どちらの to が分からなくなる

教材の概要

項目	内容
対象	中学2年（Here We Go! 2 Unit 6／BLUE SKY 2 Unit 2／NEW CROWN 2 Lesson 3 ほか）
文法項目	不定詞の副詞的用法（目的＝～しに・～するために）・Why? - To ～.
形式	授業案A4・3ページ
所要時間	50分×1コマ
準備物	印刷のみ（投影版を使う場合はプロジェクタ）・短冊（1人1枚）

授業の流れ（50分）

導入：ここ、何しに来る場所？クイズ（15分）

人がそこへ来る「わけ」を3つのヒントで聞かせ、生徒はどこの話を当てます。ヒントは1枚ずつ増え、6問で18文。どの文にも「～しに来る」の to+動詞が1つずつ入っています。

1. People come here to say goodbye.
2. People come here to get on something very big.
3. People come here to fly to other countries.

答えは空港。1枚目では駅・港・空港・卒業式の学校のどれもありえて、2枚目で乗り物の場所に絞れ、3枚目で確定する—この勾配がクイズの生命線なので、ヒントの順番は入れかえないでください。以降はコンビニ（People also come here to use the copy machine.）、保健室、お化け屋敷、職員室、先生の行きつけの場所と進みます。

正解のたびに、Why …? の問いを1つだけ生徒に向けます。Why did you go to a convenience store last time? - To buy a drink.／Why do you come to the teachers' room? - To see Ms. Sato. のように、わけだ

けを To ～. で返させます。板書は2列にして、左にヒントの to+動詞、右に生徒の To ～. を書きためていきます (To bought は先生が To buy. と言い直すだけ)。

4問目のお化け屋敷 (People come here to scream.) は、文化祭の季節なら教室がいちばん沸く問です。最終問は先生の行きつけの場所で、3枚目は Last Friday, I went there to sing for three hours! のような先生の実話に差し替えます。

気づき: to のあとは「わけ」(8分)

板書の左の列を見渡して「Why do people come here? と聞かれたら、どこだけ言えば足りる?」と問います。生徒は右の列でもうやっています—To fly. To rest. To scream. 文の前半 (People come here) がなくても、to から後ろだけでわけが伝わります。to+動詞は、文のうしろに「～しに・～するために」を足す形です。

次に空港の3枚目を指さします。People come here to fly to other countries. には to が2つあります。「それぞれの to のあとに来ているのは?」と聞くと、fly (すること) と other countries (場所) に分かれます。同じ to でも、あとに来るもので仕事がちがう、が生徒の言葉で出るまで待ちます。最後に、コンビニの右の列の To buy a drink. に Last Sunday, I went to the convenience store を足して1文にし、went で過去は言い終わっているから to のあとは buy のまま、を確かめます。

展開: 理由当て Did you go there to ...? (15分)

1人1枚の短冊の表に、最近行った場所を Last weekend, I went to ～. の1文で書きます (本当に行った場所で、家と学校は除く)。裏には、行ったわけを to ～. で書きます。4人班で1人ずつ表を読み上げ、ほかの3人が順に Did you go there to ～? と聞いて当てます。答える側は Yes, I did. か No, I didn't. だけ。3人とも外したら、本人が裏を読んで I went there to ～. で明かします。

当てる側は、場所から思いつくわけを自分で考えて英語にしなければなりません。同じ駅でも、だれかを迎えに行ったのか、本を買いに行ったのか、電車を見に行ったのかは本人しか知らない—当てる理由が本当にあるので、質問の文に to+動詞が何度も出ます。机間では、Did you go there to bought ～? のように to のあとが過去形になっていないかを聞き取ります。

出口: 行った場所とわけを1文で (8分)

短冊の表と裏を1文にまとめ、Last weekend, I went to ～ to ～. と書きます。1文の中に to が2つ並ぶので、どちらが場所でどちらがわけかを自分で書き分けることになります。机間で見るのは3つです—to のあとの過去形 (to bought)、for でつなぐ形 (for buy)、わけの to の抜け (went to the store buy)。書けた1文は短冊ごと回収し、次の時間の最初に2～3枚読み上げます。

まとめ (4分)

1文を2～3人に読ませ、to が2つの文で場所とわけを言い分けられたかを確認します。次の時間は教科書本文から to を探し、場所の to か、わけの to か、want to の to かに分ける、と予告して終わります。

6問目 (先生の行きつけの場所) の3文は、先生の実話に差し替えてください。1枚目はだれにでも当てはまるわけ (to relax)、3枚目はその場所でしかないこと (to sing/to swim) を Last ～, I went there to ～. の過去の文で。

定着・受験への接続

板書の2列（ヒントの to+動詞／生徒の To ～.）は、そのまま定期テストの「Why? に答える」問題の形です。中2の不定詞のまちがいは、want to より「～するために」の文に集まります（for play/to played）。今日の短冊の1文を、この2つの点検に使ってください。

3用法をまとめて練習するなら不定詞の定着ドリル（大問6の「そのためにしていること」が目的の to）、10分で確かめるなら不定詞の10分小テスト、評価の設計は中2・2学期中間テストの作り方へ続きます。名詞的用法の導入は『先生の人生やりたいことリスト』授業案、形容詞的用法は『ふしぎな自動販売機』ワークシート、3つの用法をまとめて使わせるタスクは『夢の時間割をつくろう』授業案です。3用法を見分ける練習は不定詞3用法の使い分けワークシート（Premium）にあります。

投影版パワーポイント（Premium）

この授業案には、導入15分の「ここ、何しに来る場所？」クイズをそのまま投影できるパワーポイント（全27枚）が付属します。スライドを進めるたびにヒントが1枚ずつ増え、もう1回進めると答えの場所と Why …? の問いかけがめくれます。答えスライドのポイント欄には板書の右の列に書く To ～. の例を、発表者ノートにはクイズの勾配を崩さない読み方と、6問目を先生の実話に差し替えるときの作り方を書いています。ダウンロードはPremiumのファイルです。

